

## 採択理由

プログラム名： 国際共同研究の推進  
課題名： 鳥インフルエンザ治療薬の国際共同開発研究  
代表者名： 萩原 正敏  
所属機関名： 東京医科歯科大学

---

## コメント

高病原性鳥インフルエンザは、近年アジア各地において流行の兆しを見せており、早い変異によって近い将来ヒトへの感染性を獲得し、新型インフルエンザの発生・大流行につながり得るとして、脅威となっている。

本提案は、鳥インフルエンザの発生が現実のものとなっているベトナムにおいて、同国の主要研究機関と共同で、提案者がこれまでに見出した抗ウイルス活性化化合物の効果を検証し抗鳥インフルエンザ薬の開発につなげようとする取り組みであり、喫緊の重要な課題と評価される。本課題実施を契機として国際共同研究ネットワークが適切に構築されることが期待される。将来にわたりこの国際共同研究が円滑に継続・実施されて、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ対策に貢献することを望む。

なお、本課題の推進にあたっては、安全性の確保、倫理上の配慮、国際ルールの遵守が重要であり、こうした点に十分に留意して共同研究を展開していただきたい。この観点より、以下の2項目を採択条件とする。

## 採択条件

- (1) 動物にて *in vivo* 実験を行う場合には、その安全性を十分確保した上で実施すること。
- (2) 本プログラムによる課題の範囲内では、海外において、Phase I、Phase IIa のような初期臨床試験は実施しないこと。